

地 域 連 携

森田地区まちづくり協議会と
仁愛女子短期大学との連携事業報告

地域活動実践センター長 重村 幹夫

「森田地区まちづくり協議会と仁愛女子短期大学との連携に関する協定」が平成22年8月30日に締結されました。
この協定に基づいて、平成26年度も相互に連携・協力して様々な事業を展開してきました。

1 森田・仁愛女子短期大学連携協議会

「第5回森田・仁愛女子短期大学連携協議会」が、平成26年6月6日、仁愛女子短期大学で開催されました。森田地区から安田寛自治会連合会会長他9名が、本学から禿正宣学長他6名が出席しました。



森田地区の出席者

(自治会連合会会長:安田寛、同副会長:田中利憲、同事務局長:松井敏数、社会福祉協議会会長:柳原健一、公民館館長:吉村公司、運営審議会委員長:横山芳樹、文化委員会委員長:高木荘治、同副委員長:勝見祐昌、森田公民館主事:吉田智子)



仁愛女子短大の出席者

(学長:禿正宣、副学長:水岸誠、学生部長:内山秀樹、事務長:吉川敏通、地域活動実践センター長:重村幹夫、事務:中村澄子)

協議事項は、平成25年度に実施した連携事業の報告及び平成26年度実施予定の連携事業について行いました。

2 公民館と地域活動実践センターの事務打合せ

事務レベル協議が、平成27年2月5日に仁愛女子短期大学で開催されました。森田地区からは吉村公司森田公民館館長、吉田智子公民館主事が、本学から重村幹夫地域活動実践センター長、内山秀樹教授、中村澄子センター事務が出席しました。打合せ内容は、平成26年度の振り返りと平成27年度実施予定の連携事業、夢ギャラリー森田の運用状況等について話し合われました。

3 もりた夢駅～夏物語2014～

本学生活環境専攻「地域環境論(内山秀樹教授)」の一環として、7月15日に開催されました。今年は、森田駅駐輪場壁画を、地元アーティストとのコラボレーションによりペイントしました。

4 森田エコキャンドル2014

これも、「地域環境論(内山秀樹教授)」の一環として、7月26日に開催されました。今年は、環境専攻卒業生が、企画準備段階から参加しました。3及び4の二つの連携事業の詳細は「地域連携開放講座(p.23-24)の項をご覧ください。

5 森田地区文化祭と本学大学祭の連携・協力

森田地区文化祭が10月25日・26日、本学大学祭が10月18日に開催されました。今年は、日程が合いませんでした。書道サークルの作品展示、栄養研究サークルのパウンドケーキの販売が行われました。

6 もりた夢市への参加

「もりた夢市」は、森田地区住民主体の朝市として、

11月9日に開催されました。ここでも、栄養研究サークルのパウンドケーキの販売が行われました。

7 夢ギャラリー森田(JR森田駅)

地域の方にJR森田駅をもっと身近に感じてもらうため、駅舎内の一角に「夢ギャラリー森田」が開設されています。森田地区と本学で、一ヶ月交代で作品を展示しています。今年度は、サークルの他、本学全学科、専攻の展示を行いました。

①第24集『わたしのマスコットキャラクター』

(5月1日～5月23日)

出品者は、生活環境専攻8名です。今回の作品は自分をキャラクター化し、立体化した作品です。

②第25集『生活情報専攻 卒業研究 2014』

(7月1日～7月31日)

出品者は、生活情報専攻の 島田ゼミ・田中ゼミ・内藤ゼミ・野本ゼミ・大西ゼミ・平塚ゼミ・澤崎ゼミの学生です。ゼミの内容紹介を行いました。

③第26集『食物栄養専攻 栄養（食事）についてのパネル展』

(9月1日～9月30日)

出品者は、食物栄養専攻生です。「栄養（食事）」についてのパネルを作成しました。

④第27集『折り紙研究サークル《春夏秋冬》壁画・色紙』

(10月1日～10月31日)

出品者は、折り紙研究サークル9名です。折り紙を使い季節の変化を壁画・色紙に表現しました。

⑤第28集『生活環境専攻 動物と植物を題材にした

文様デザイン・design news』

(1月9日～1月31日)

出品者は、生活環境生4名です。動物等を題材に、特徴を単純に意匠化し、連続する文様としてデザインを試みた作品です。また、1年間の取組みと活躍を掲載した、design newsを展示しました。

⑥第29集『幼児教育学科図画工作作品展』

出品者は幼児教育学科生です。紙版画と、一月の小壁画を展示しました。

『生活情報専攻 卒業研究 2014』

『食物栄養専攻 栄養（食事）についてのパネル展』

『折り紙研究サークル《春夏秋冬》壁画・色紙』

『生活環境専攻 動物と植物を題材にした
文様デザイン・design news』

地
域
連
携

26